2021年●月●日

活動計画書

団体名：●●●●●部

|  |  |
| --- | --- |
| 学生責任者 | 氏名：  |
|  | 学籍番号：  |
|  | 連絡先：  |
| 指導責任者 | 氏名：  |
|  | 役職：  |
|  | 連絡先：  |
| 対面で活動を行う必要性チェックの上、必要性を記載してください。 |[x]  この時期に活動を再開する必要性がある |
| 大 会 名 ：　●●●●●●開 催 日 程 ：　●月●日（●）開 催 場 所 ：　●●●●所属連盟HP ：　●●●●本大会への大会参加に向け、対面での活動再開を必要とする。なお、個人でできる基礎練習や自主練習は引き続き個人で行う。また、ミーティングについてもオンライン上で実施し、対面での活動は必要最小限の時間とする。 |
| 新型コロナウイルス感染症に関する部内の共有状況新型コロナウイルスの特徴を部員全員が理解しているか、どういった形で部員に周知されているかを記載してください。 |
| ・対面での活動を再開するにあたり、●●連盟発信のガイドラインを部内で共有し、共通認識として持った。・本学の「課外活動における新型コロナ予防・感染拡大防止ガイドライン～公認団体（準公認団体含む）版～」を熟読、部内で共有し、コロナ禍での部活時に遵守事項について、共通認識を持った。 |
| 活動参加の条件「大学公認団体の学外における課外活動の再開に伴う新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のためのガイドライン」記載されている内容を踏まえ、各団体における活動参加の条件を記載してください。学生本人の意思を尊重した上での活動が条件となるので、本人の同意に関しての確認方法については必ず記載してください。 |
| ・対面での活動再開にあたり、本人の希望と保護者の同意を得ることとする。本人の希望と保護者の連名による同意書の提出をもって、活動参加を認める。（※活動に参加しないことによって、不利益を被ることがない旨は事前に説明を行う。）・健康状態の確認（検温の実施）（部活動開始前を含む）必ず朝夕の活動前に検温を行い、発熱（37.0度以上平熱が高めの人は＋0.5度以上）が確認された場合は、活動に参加せず自宅待機とし、毎日体温を測定して記録する。また、同居者が体調不良時も同様に、部員から感染対策学生担当に練習日の朝に報告し、学生担当は集約したものを、練習開始前に、感染対策責任者に報告する。・下記の事項に一つでも当てはまる場合は、活動に参加せず自宅待機とし、感染対策責任者に連絡する。※同居者が同様の体調不良の場合も、自宅待機・感染対策責任者に報告する。 ➡風邪のような症状（咳、のどの痛み）がある ➡だるさ（倦怠感）がある ➡吐き気や嘔吐、下痢をしている ➡息苦しさ（呼吸困難）がある ➡においや味がいつもと違う症状（嗅覚や味覚の異常）がある・PCR検査・抗原検査で結果待ちの者ならびに陽性の者、または新型コロナウイルス感染者との濃厚接触の疑いがある場合・親族や知人など身近に新型コロナウイルス感染の疑いがある者がいる場合※なお、体調不良者（本人または同居者等）が、解熱剤や風邪薬を内服せず、48時間症状が見られず経過した場合は活動に参加可とする。 |
| 施設利用に際しての感染防止策自宅から施設までの移動時、施設への入構時、部室や更衣室、シャワー室の利用時、施設利用時等に際しての各団体における感染防止策を記載してください。 |
| １．移動時・公共交通機関を利用する場合、マスクの（原則不織布マスク）着用を必須とし、私語を控え、不用意に物に触れない等の感染防止策を徹底する。・移動時は団体行動を避け、原則一人で移動する。（練習の行き帰りは個々で移動し、連れ立たない）２．施設入構時・入構の際はマスク（原則不織布マスク）着用を厳守し、複数人での入構は行わない。・アルコールによる手指消毒／石けんでの手洗いをする。・到着したら非接触型体温計での検温を実施するなどの体調をチェックすること。・学外施設を利用する場合、施設の利用規則及び感染防止ガイドライン等に従い、適切に利用する。３．更衣室利用時・更衣室は換気状態が良くないため、可能な限り自宅で更衣する。・利用する場合は、更衣中も常時マスク（原則不織布マスク）を着用し、原則「私語厳禁」し、速やかに更衣をすませて退出（10分以内）すること。・更衣は隣の者と1ｍ以上間隔の取れる最小限の人数で行うこと。・使用した後は一回ごとに換気を行い、ドアノブを消毒する。・他の団体が利用している際は時間をずらして利用する。４．シャワー室利用時・必ず個人で使用すること。・利用中は会話しないこと。・利用後は毎回換気、使用部分（ドアノブ等）の消毒を行うこと。５．活動施設利用時・可能な限り共有物を作らない。使用した器具等は練習前、練習後に消毒すること。・施設の広さを確認し、その中で安全な対人距離を確保できるか判断し、利用すること。・活動中に出たごみは、密封した状態で指定のごみ箱に捨てるか、各自持ち帰ること。・活動終了後は手指消毒／石けんでの手洗いを行うこと。 |
| 感染防止策を踏まえた活動(練習)内容　許容される練習参加人数や練習内容、感染防止策を踏まえた活動（練習）内容を記載してください。また、活動（練習）の際の活動体制（参加人数や指導者の指導体制、活動時間等）を記載してください。 |
| ・各練習日の参加者名簿を作成・管理すること。・練習中・練習前後など常に対人距離を確保(1m以上)、マスク（原則不織布マスク）を着用すること。但し、熱中症予防や酸欠など、2m以上のソーシャルディスタンスを確保、かつ会話をしない条件で、一時的にマスクを外すことは可とする。※行き帰り用のマスクとは別に、練習用マスク（原則不織布マスク）の準備を推奨・水分補給時には、こまめに手指のアルコール消毒／石鹸による手洗いを行うこと。・プレー中に、洗っていない手で目・鼻・口をできるだけ触らないこと。・ボトル、笛などは共有せず、選手個人の備品を使用し、他の人のボトル・笛に触れないようにすること。 |
| 大会参加時の移動手段等大会参加時の行程（移動手段含む）・宿泊・食事予定について記載してください。 |
| 【大 会 名】”活動の必要性に記載の通り”【大会日時】”活動の必要性に記載の通り”【開催場所】”活動の必要性に記載の通り”【宿泊有無】有りor無し　※有りの場合は、宿泊先・部屋情報を記載する。原則シングル利用。【行 程】移動の際は、個人移動で、公共交通機関を利用する。【食 事】大会会場で食事をとる際は、大会主催者側の指示に従い距離を開け黙食。 |
| 罹患者が発生した場合、または体調不良など罹患の疑いがある学生が発生した場合の対応罹患者が発生した場合、または体調不良など罹患の疑いがある学生が発生した場合、各団体における対応を記載してください。 |
| ・体調チェック(本人・同居者)を徹底し「活動参加の条件」に当てはまらない者は自宅待機を求めて練習には参加させない。・練習途中で体調不良者が出た場合は、活動を中止し、速やかに帰宅させる。また、症状が重い場合は、最寄りの医療機関に電話連絡し、外来を受診させる。※最寄りの医療機関は、確認もしくは記載する。・部長(顧問)または感染対策責任者は、感染者・濃厚接触者が発生した場合、速やかに以下の対応をとる。①練習(試合含む)を中止し、一時的に全員自宅待機、入構禁止とする。②感染者・濃厚接触者に大学学生コロナ報告窓口に報告するよう指示する。③感染者の場合、感染者に「少しでも体調に異変が出たのは、いつ」を聞き、症状発生時点から60時間前にさかのぼり、練習や行き帰り、更衣室等での接触状況(マスク着用の有無・会話・飲食など)を聞いて、部内に濃厚に接触した者の有無を確認し、そのことを大学の下記の連絡先に報告する。④求められた場合、部員の体調管理シート、行動履歴、部活参加者名簿などを速やかに提出する。○報告先学生コロナ報告窓口：gakusei-covid19@kanagawa-u.ac.jp学生課：kuykagai-ml@kanagawa-u.ac.jp |
| 連絡体制 |
| ・有事に迅速に対応ができるよう、感染対策責任者と感染対策学生担当者を決めておく。感染対策責任者（教職員・指導者）：○○○○※電話番号も記載すること 感染対策学生担当：○○○○※電話番号も記載すること・部員との連絡体制は、指導者含む部の（例）LINEグループで管理している。 |
| その他 |
| ○個人（自主練習含む）における日常的な感染対策を徹底する。・日常でも、人との間隔は、最低1m以上空ける。・外出時や屋内で会話をする時、常に正しくマスクを着用する。・アルコールによる手指消毒／石けんでの手洗いをする。・不要不急の外出は控える。また、不特定多数の人が集まる場所、感染リスクの高い場所へ行くことは控える。帰宅後、アルコールによる手指消毒／石けんでの手洗いをする。・感染リスクの高い行動(懇親会、歓迎会など)は行わない。また、複数人集まっての会食、活動終了後などに複数人で食事をとることも行わない。・試合等でやむを得ず会場で一緒に食事をする場合、会話をせず、間隔を最低1ｍ以上とる。 |